

2007年度 日本冷凍空調学会 年次大会

(社)日本冷凍空調学会では、学会最大の行事として下記のように2007年度年次大会を開催いたします。冷凍空調分野に関心をお持ちの多くの皆様のご参加をお待ちしております。最新情報につきましては年次大会ホームページをご覧ください。

CPDポイント1時間あたり1.5ポイント

【主催】(社)日本冷凍空調学会

【協賛】近畿冷凍空調工業会、(社)空気調和・衛生工学会、(社)建築設備技術者協会、高圧ガス保安協会、(財)省エネルギーセンター、中部冷凍空調協会、(社)低温工学協会、低温生物工学会、西日本冷凍空調工業会、(社)日本エネルギー学会、(社)日本機械学会、(社)日本技術士会、(社)日本食品科学工学会、日本食品保蔵科学会、(社)日本水産学会、日本太陽エネルギー学会、(社)日本畜産学会、日本調理科学会、(社)日本伝熱学会、日本熱物性学会、(社)日本農芸化学会、(社)日本冷凍空調工業会、(社)日本冷凍空調設備工業連合会、(社)日本冷凍食品協会、(財)ヒートポンプ・蓄熱センター

【会期】2007年10月22日(月)～25日(木)

日程	22日(月)	23日(火)	24日(水)	25日(木)
午前	学術講演	学術講演	学術講演 ワークショップ3	
午後	学術講演 冷凍技士セミナー ワークショップ1	学術講演 圧縮機セミナー 食品技術分科会報告会 ワークショップ2 特別講演 懇親会	学術講演 一般公開セミナー	見学会 ソーシャルプログラム
備考	パネル・カタログ展示	パネル・カタログ展示	パネル・カタログ展示	

【会場】学術講演会の会場は東京農工大学小金井キャンパス（東京都小金井市中町2-24-16）です。見学会では汐留地域冷暖房および築地市場を見学します。会場の詳細は本会告の会場案内をご覧ください。

【参加登録】今年度の事前申込は終了しました。事前申込をされていない方は、当日受付にてお願いいたします。

【参加費用】

a) 年次大会参加登録（講演論文集1冊を含む）	当日
・個人会員，協賛学協会会員，講演登壇者	8,000円
・学生会員，協賛学協会学生会員，講演登壇学生	3,000円
・一般個人	10,000円
・一般学生	4,000円
b) 懇親会（同伴家族1名無料，先着120名）	7,000円
c) 見学会（先着40名）	（無料）
d) ソーシャルプログラム（同伴家族1名無料，先着40名）	8,000円
e) 一般公開セミナー（定員200名）	（無料）

注1) 会員企業の方は「優待券」を利用すると、非個人会員でも会員資格で参加登録できます。

注2) 大会終了時に講演論文集（CD-ROM付）の残部がある場合、1冊6,000円で販売いたします。

【問合せ先】年次大会実行委員会副委員長 秋澤 淳（E-mail：jsrae07@cc.tuat.ac.jp）または、日本冷凍空調学会事務局（E-mail：reito@nifty.com）
ホームページ <http://www.jsrae.or.jp/>

年次大会行事内容

〈一般公開セミナー〉 10月24日(水)14:00～16:30 [講演会場H室]

学会の社会貢献の一環として一般の皆様を対象に実施します。今回は近年話題になっている農産物の流通と品質保持の話題について、わかりやすく解説をしていただきます。安全で安心できる食品を確保することはいつの時代でも大変重要な課題です。冷蔵・冷凍技術の進展や情報通信技術の応用により、農産物の流通分野においても高度化に向けた展開が期待されます。年次大会開催校である東京農工大学農学部の先生方に現状や動向についてお話いただきます。どなたでも参加でき無料ですが、会員の皆様は予めお申し込み下さい。詳細は後のページの案内書をご覧ください。

「農産物流通における鮮度保持と冷蔵冷凍」

講演1 米の貯蔵と鮮度保持	講師 渡邊兼五 (東京農工大学 教授)
講演2 イチゴの果実品質と鮮度保持技術	講師 荻原 勲 (東京農工大学 教授)
講演3 農産物のトレーサビリティ	講師 澁澤 栄 (東京農工大学 教授)

〈学術講演〉 10月22日(月)～24日(水) [講演会場A～G室]

3日間にわたって一般セッションと10テーマのオーガナイズドセッション(OS)で講演発表を行います。なお、35才未満の講演者を対象に「優秀講演賞」を選出します。また、会場ホールでは会員企業等による最新の研究開発・製品開発に関するパネルやカタログの展示、本学会技術企画委員会によるパネル展示を予定しています。

《オーガナイズドセッション》

(セッション名)	(オーガナイザー)
OS-1 次世代冷凍システム	松岡文雄 (三菱電機)
OS-2 吸着冷凍サイクル・デシカント空調	児玉昭雄 (金沢大学), 小林敬幸 (名古屋大学)
OS-3 吸収冷凍・ヒートポンプサイクル	辻森 淳 (関東学院大学), 齋藤 潔 (早稲田大学)
OS-4 環境に優しい冷凍空調システム —スターリング冷凍機—の基礎と応用	香川 澄 (防衛大学校), 星野 健 (宇宙航空研究開発機構), 大高敏男 (国士舘大学)
OS-5 新冷媒の熱力学性質および輸送性の評価	東 之弘 (いわき明星大学), 岡田昌章 (筑波技術大学)
OS-6 圧縮機の最新技術と将来展望	福田充宏 (静岡大学), 東條健司 (日立アプライアンス)
OS-7 熱交換器における技術展開	小山 繁 (九州大学), 宮良明男 (佐賀大学), 森 英夫 (九州大学)
OS-8 興味ある現象や応用を伴う固液相変化	松本浩二 (中央大学), 岡田昌志 (青山学院大学)
OS-9 食品および生体の冷凍に関連する最新技術	鈴木 徹 (東京海洋大学), 渡辺 学 (東京海洋大学)
OS-10 霜・雪・氷の諸現象と利用技術	関 光雄 (東洋製作所), 山下浩司 (三菱電機)

《一般セッション》

(セッション名)
GS-1 空調システム一般
GS-2 冷凍システム一般

〈特別講演〉 10月23日(火)16:30～17:30 [講演会場D室]

「京都議定書達成に向けた冷凍・空調分野への期待」
講師 坂本 努 (国土交通省住宅局住宅生産課長)

〈冷凍技士セミナー〉 SN-1 10月22日(月)15:20～17:30 [講演会場A室]

	(企画 冷凍技士運営委員会)
空調分野にITを活用した省エネルギーの動向	講師 井上雅裕 (芝浦工大), 小澤芳男 (三洋電機), 近藤哲行 (ダイキン工業)
AIB フードセイフティー	講師 井上好文 (日本パン技術研究所)
食品の安全を確保する設備管理	講師 鷲巣恵一 (山崎製パン)
世界最大級アンモニア吸収冷凍機納入事例	講師 柏原伸次 (ダイキンアプライドシステムズ)

〈食品技術分科会報告会〉 SN-2 10月23日(火)13:00～14:20 [講演会場G室]

	(企画 食品技術分科会)
食品凍結中に磁場が及ぼす効果の実験的検証	講師 鈴木 徹 (東京海洋大学)

〈圧縮機セミナー〉 SN-3 10月23日(火)14:40～16:00 [講演会場F室]

(企画 圧縮機技術分科会)

冷蔵庫用レシプロ型圧縮機の技術史	講師	梅岡郁友 (松下冷機)
ヒートポンプ方式ななめドラム洗濯乾燥機	講師	中本重陽 (松下電器産業)
インジェクション圧縮機を用いた寒冷地向け パッケージエアコンの開発	講師	青木正則 (三菱電機)
最近の希土類磁石の動向	講師	田村和男 (信越化学工業)

〈ワークショップ〉

WS-1 10月22日(月)16:00～17:00 [講演会場C室]

「技術者倫理」

(企画 年次大会実行委員会)

ものづくりの観点から見た技術者倫理 講師 飯野弘之 (金沢工業大学)

WS-2 10月23日(火)13:00～15:15 [講演会場D室]

「省エネフロンランナー計画とバイオマスエネルギー」

(企画 年次大会実行委員会)

蓄熱技術の研究開発状況 講師 平野 聡 (産業技術総合研究所)

エネルギーネットワーク技術～熱・化学・ 講師 山口 浩 (産業技術総合研究所)

電気のエネルギーを無駄なく使う～

CO₂削減とバイオマスエネルギー利用 講師 堀尾正毅 (東京農工大学)

WS-3 10月24日(水)10:00～12:00 [講演会場H室]

「CO₂排出権取引をめぐる動向」

(企画 年次大会実行委員会・三菱総合研究所)

基調講演 地球温暖化問題に関する対策の 講師 中村秀臣 (三菱総合研究所 地球環境研究本部長)
現状と課題

動き出したポスト京都フレームと 講師 杉原弘恭 (日本政策投資銀行)
CDM/JIの動向

欧米における排出権取引の動向 講師 橋本 賢 (三菱総合研究所)

わが国における温暖化にかかる規制 講師 清水紹寛 (三菱総合研究所)
(省エネルギー法の動向等)

排出権ビジネスの現状と将来展開 講師 伊藤一道 (三菱総合研究所)
全体討論

〈懇親会〉10月23日(火)18:00～20:00 [東京農工大学小金井キャンパス生協ホール]

懇親会は年次大会会場にて開催し、参加者の懇親と交流を深めます。参加申込が必要です。

募集人数：120名

参加費：事前申込5,000円、当日申込7,000円。

〈見学会〉10月25日(木)13:00～16:30 [汐留地域冷暖房と築地市場]

汐留地区は東京都心部の大規模再開発地域で、日本テレビをはじめとする近代的オフィスや劇場などが立ち並ぶ地域です。この地区の冷暖房需要を賄うために導入されている地域冷暖房を見学いたします。大規模な吸収冷凍機・ターボ冷凍機群に加え、水深24メートルにもおよぶ氷・冷水蓄熱槽が設置されています。また、汐留地区からほど近いところに築地市場が位置しております。海産物流通の最前線で活躍する冷凍・冷蔵設備などを見学する予定です。

募集人数：40名 (定員に達し次第締め切ります。年次大会への参加登録者を優先いたします。)

参加費：無料

詳細は、後のページの案内書をご覧ください。

〈ソーシャルプログラム〉10月25日(木)17:00～19:00 [屋形船による東京お台場めぐり]

今年度年次大会では、参加登録者とそのご家族が参加いただける新たなイベントとして、ソーシャルプログラムを企画いたしました。見学会後に屋形船に乗り込み、東京お台場をめぐります。屋形船では、東京湾から都心をながめながら食事と会話をお楽しみ下さい。

募集人数：40名 (定員に達し次第締め切ります。年次大会への参加登録者を優先いたします。)

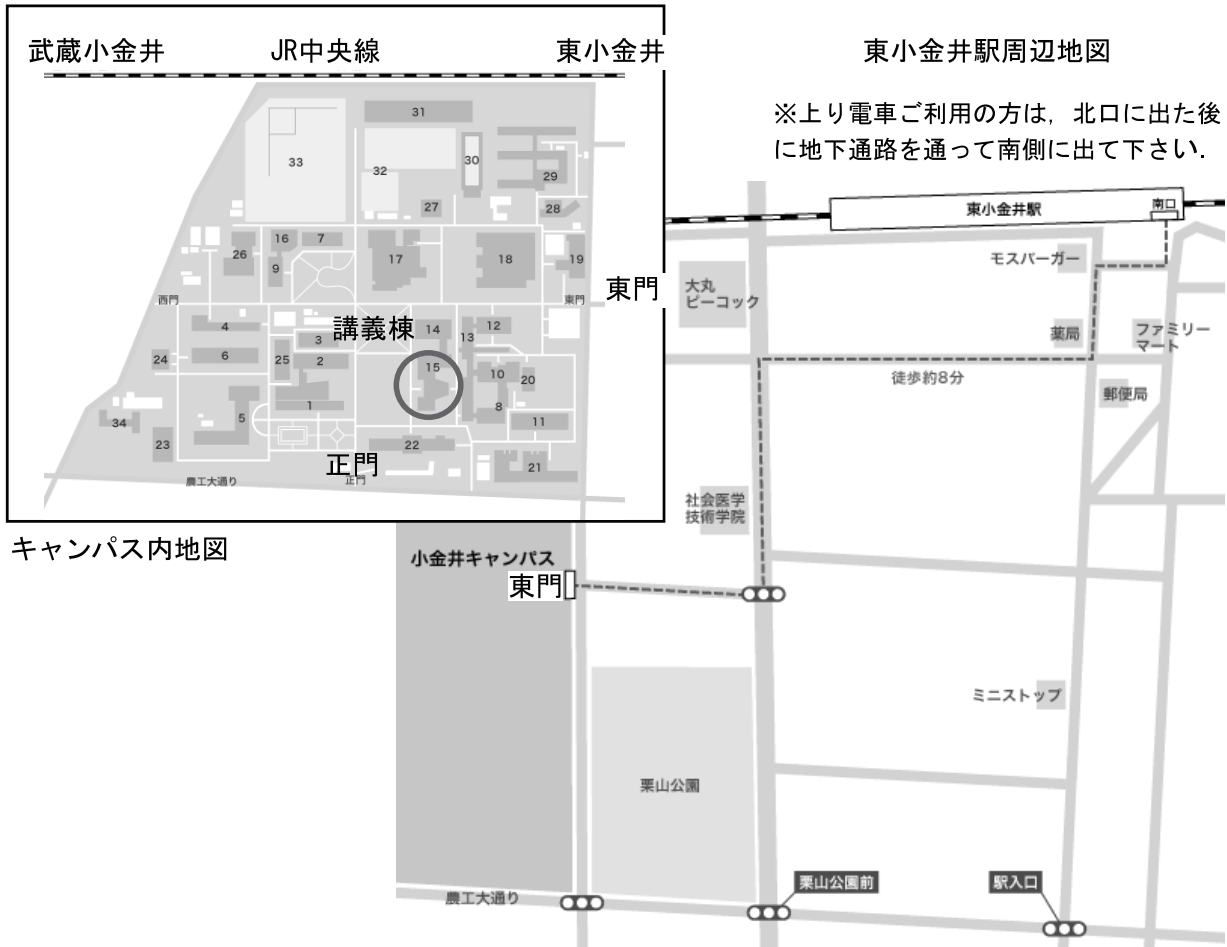
参加費：事前申込6,000円、当日申込8,000円 (同伴家族1名無料)

詳細は、後のページの案内書をご覧ください。

会場案内

会場となる東京農工大学小金井キャンパス（東京都小金井市中町2-24-16）へは、下図または大学ホームページをご参照下さい（<http://www.tuat.ac.jp/access/index.html>）。

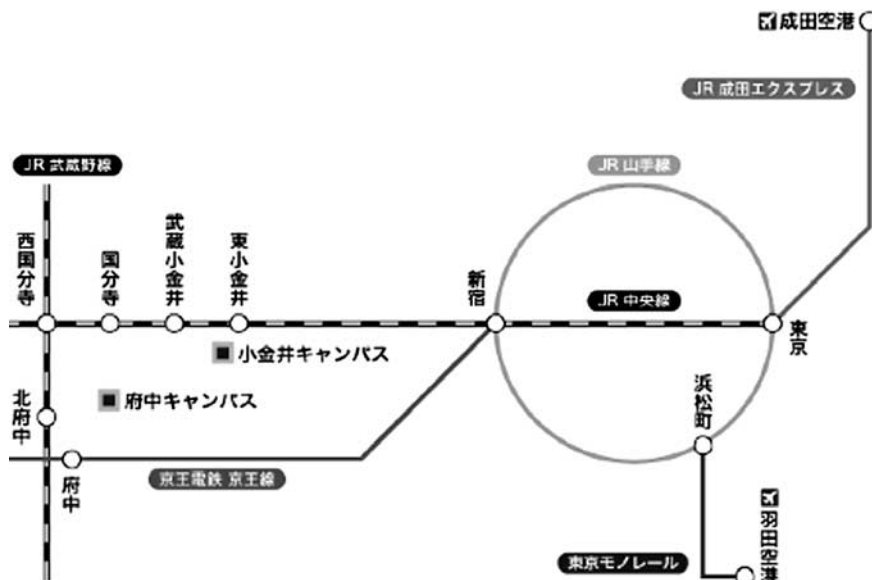
最寄駅：JR中央線「東小金井」駅下車，徒歩10分程度
 受付：小金井キャンパス講義棟1階ホール



〈羽田空港からのアクセス〉

羽田空港から東京モノレールに乗り「浜松町」下車。JR山手線に乗り換え、「東京」または「新宿」下車。さらにJR中央線（八王子・高尾方面）に乗り換え、「東小金井」下車。

東京農工大学小金井キャンパスアクセスマップ



見学会 一汐留地域冷暖房設備および築地市場の見学一

主催：(社)日本冷凍空調学会 2007年度年次大会実行委員会

汐留地区は東京都心部の大規模再開発地域で、日本テレビをはじめとする近代的オフィスや劇場などが立ち並ぶ地域です。この地区の冷暖房需要を賄うために導入されている地域冷暖房を見学いたします。大規模な吸収冷凍機・ターボ冷凍機群に加え、水深24メートルにもおよぶ氷・冷水蓄熱槽が設置されています。また、汐留地区からほど近いところに築地市場が位置しております。海産物流通の最前線で活躍する冷凍・冷蔵設備などを見学いたします。

日 時： 2007年10月25日(木) 13:00～16:30
 集合場所： 都営地下鉄大江戸線「汐留」駅の新橋方向改札を出て地上5番出口
 スケジュール 13:00 集合
 13:10 汐留地域冷暖房へ移動
 13:20～14:40 施設概要説明および見学
 14:40～15:00 移動(徒歩)
 15:00～16:30 築地中央卸売市場の見学
 16:30 現地解散

募集人数： 40名(定員に達し次第締め切ります。なお、年次大会への参加登録者を優先いたします。)

参加費： 無料

申込締切： 2007年9月28日(金)

申込方法： 年次大会ホームページ (<http://www.jsrae.or.jp/nenjitaikai/J/index.html>) の事前参加登録ページより他の行事と併せてお申し込み下さい。ホームページでの申込みが難しい場合には、前出の年次大会の事前登録申込書(Fax用)でお申し込み下さい。領収書、参加券、集合場所の地図は年次大会の受付にてお渡しします。なお、人数に余裕のある場合は、年次大会受付でもお申し込みを受け付けます。

問合せ先： 年次大会実行委員会 担当：亀谷茂樹 (E-mail: kametani@kaiyodai.ac.jp)

ソーシャルプログラム

屋形船による東京お台場めぐり

隅田川の秋風に吹かれ、水辺から江戸の町を楽しむ。今、江戸情緒と最先端の街が東京湾でぶつかり合い毎年様相を変えています。屋形船の上で軽く飲んだり食べたりしながら、築地の食品市場、冷凍倉庫、地域冷暖房、新しい建築物群、発電所等々を指さして、ご家族にさりげなく皆さん方が果たしてきたことをご紹介頂くのも粋なことと思います。今回はご家族お誘い合わせの上ご参加ください。見学後は別行動で築地ですし三昧、あるいは銀ブラの後に屋形船のみの参加など、ご都合に合わせてご参加ください。秋空のもと是非軽く知的的好奇心と空腹を満たしませんか？

日 時： 2007年10月25日(木) 17:00～19:00
 集合場所： 参加者に地図を配布いたします。
 スケジュール (16:30～17:00 見学会参加者はマイクロバスで屋形船乗船場所まで移動します)
 17:00 集合・乗船
 17:00～19:00 屋形船内にて食事・歓談
 19:00 現地解散

募集人数： 40名(定員に達し次第締め切ります。なお、年次大会への参加登録者を優先いたします。)

参加費： 事前申込6,000円、当日申込8,000円(同伴家族1名無料)

申込締切： 2007年9月28日(金)

申込方法： 年次大会ホームページ (<http://www.jsrae.or.jp/nenjitaikai/J/index.html>) の事前参加登録ページより他の行事と併せてお申し込み下さい。ホームページでの申込みが難しい場合には、前出の年次大会の事前登録申込書(Fax用)でお申し込み下さい。領収書、参加券、集合場所の地図は年次大会の受付にてお渡しします。なお、人数に余裕のある場合は、年次大会受付でもお申し込みを受け付けます。

問合せ先： 年次大会実行委員会 担当：亀谷茂樹 (E-mail: kametani@kaiyodai.ac.jp)

農産物流通における鮮度保持と冷蔵冷凍

主 催：(社)日本冷凍空調学会
 企 画：2007年度年次大会実行委員会
 日 時：2007年10月24日(水) 14：00～16：30
 会 場：東京農工大学小金井キャンパス 新一号館L0111教室
 (東京都小金井市中町2-24-16)

学会の社会貢献の一環として一般の皆様を対象に実施します。今回は近年話題になっている農産物の流通と品質保持の話題について、わかりやすく解説をしていただきます。安全で安心できる食品を確保することはいつの時代でも大変重要な課題です。冷蔵・冷凍技術の進展や情報通信技術の応用により、農産物の流通分野においても高度化に向けた展開が期待されます。年次大会開催校である東京農工大学農学部の方々に現状や動向についてお話をいただきます。どなたでも参加でき無料ですが、会員の皆様は予めお申し込み下さい。

一般公開セミナープログラム

司会：秋澤 淳 (東京農工大学)

14:00 開会あいさつ 年次大会実行委員長 柏木孝夫 (東京工業大学)
 14:00-14:50 「米の貯蔵と鮮度保持」 講師 渡邊兼五 教授 (東京農工大学)
 14:50-15:40 「イチゴの果実品質と鮮度保持技術」 講師 荻原 勲 教授 (東京農工大学)
 15:40-16:30 「農産物のトレーサビリティ」 講師 澁澤 栄 教授 (東京農工大学)

会場定員：200名

参加費：無料

申込方法：会員の皆様には準備の都合上、あらかじめ参加申し込みをお願いいたします。年次大会ホームページから参加申込ができます。(ホームページでの申込みが難しい場合には、このページをコピーし下記申込欄にご記入の上、下記申込先へFaxでお送りください)

年次大会ホームページ <http://www.jsrae.or.jp/nenjitakai/J/index.html>

申 込 先：年次大会副実行委員長 秋澤 淳 (E-mail：jsrae07@cc.tuat.ac.jp)

Fax 042-388-7226

FAX 042-388-7226 (実行委員会宛)

2007年度 日本冷凍空調学会年次大会 一般公開セミナー参加申込書 (FAX用)

申込者名		申込 人数	大人 名 小人 名	会員資格	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 学生会員 <input type="checkbox"/> 一般個人 <input type="checkbox"/> 一般学生
連絡先住所	〒		ご所属		
電話			Fax		
E-mail					